

第276回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 高津小学校 校長 大橋 大
参加者数 15名 教頭 中尾 瑞紀

1、代表世話人挨拶 山崎純
今日は暖かくなりましたが、明日からは寒くなるようです
掃除は暖かいのでやりやすく助かります。先日から東京に
3泊4日出張でしたが、コロナウイルスの感染が増えて
心配になりました。皆さんも体には気を付けて下さい。明日
生徒さんが来られて喜んで頂けるように今日も綺麗にしましょう
2、体験感想発表
・青木 邦江さん(益田市)
今朝は間違えて吉田小にいき、帰ろうかと思いましたが、電話
してやっぱり来ました。今日は掃除道の基本を教えてください
本当に良かったです。これからも基本に忠実にやります。
・森 直雄さん(キューサイファーム島根)
花粉症が始まっていますが、掃除を始めると集中して忘れて
やりました。先週江津の掃除に参加しましたが、中学生の
皆さんが楽しそうにまた最後はとても喜んでいて感心しました
・中島 明洋さん(翔陽高校1年生)
今日は久しぶりに参加しました。高校の行事が有って中々
参加できませんが、来月は母校中西中学校なので参加します
・中尾 瑞紀さん(高津小学校教頭)
朝早くからの掃除は気分的にさがりますが、今日は2回目の
参加でいろいろ教えて頂き段々と汚れを落としてやると
言う気持ちになりました。どうも事務作業ばかりで体力が
激落ちしていて、作業をするとしんどくなり体力回復が必要です
今日は本当にありがとうございました
・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)
今日は大便秘でしたが普通に終了して、マットを剥がしてみますと
床にくっついて真っ黒で掃除をしないと衛生的に悪いと思います

2、体験感想発表
・大畑 友喜さん(高津小学校教諭)
今回初めての参加です。初めはトイレに手を入れることに抵抗が
有りましたが一番汚いところだからこそ、一番きれいにする必要が
あると思います。そして毎日綺麗にすることが大切だと思います
家でも、学校でもそうですが、このことを子供たちに伝えていきます
・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)
高津小と聞きますと掃除に力が入ります。それは親父がこちらの小学校で
お世話になって、それも新任で着任して、更に校歌を作ったということで
思い入れがあり、亡くなって7年になりますが、高津小と何度も言い続けて
おりましたので、その分気合を入れて掃除をさせて頂きました
・中西 秀之さん(周南市鹿野)
山崎さんから中尾先生の指導をお願いされて嬉しかったです。先生も
反応が早くてさすがに違うなと思いました。私の指導が嫌だったのでは
無く先程の話で先生が体がしんどかったと聞いて私の指導が悪かったのでは
無かったことが分かり安心しました。終わってから手鏡で各自のトイレを
観たところ自分のトイレが一番汚れていて皆さんの能力の高さを知りました
・田村 勝則さん(益田市・日の丸)
たまに出てきて掃除をすることで自分を反省する機会になります
・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)
今日は小便器でしたが、入り口の便器は大変手強くて尿石がプラスチックの
ように固くなっていて大変でした。他の便器は汚れていないねーて皆さんの
声が聞こえましたが、一人2つと言うことで頑張ってやりました
・佐々木 仁實さん(萩市)
今朝4時になってくる気になりました。と言うのは先週萩と江津を楽しんで
おりまして、実は明後日講演を頼まれていて、その原稿ができれば
参加しようと思っていました。やはり基本を継続することの大切さを感じます

4、鎌山秀三郎相談役 一日一話より抜粋
譲る境界
できるだけ譲る。私心がけてきた信条の一つです
できるだけ譲るように生きてはきましたが、ある一線を越えたら一歩も譲らないようにしております
一歩も譲らないのは、私個人の利害からではありません。これを譲ったら、社員が幸せにならない。
相手もよくない。この二つが、譲らない時の私の判断基準です。
良い人間関係
知識や技能さえ身につければ、一生安泰の暮らせると勘違いしている人がおります。
知識や技能だけに偏りますと、人間としての感性が薄れてきます。感性が薄れると、人間関係に
支障をきたします。したがって、幸せな人生は送れません。良い人間関係を作るための基本は
自分の手と足と体を使って、人のご縁を深めることです。
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
生き方の基本
・どうしたら子供達を、真に忍耐強い子にすることができるか
第一は人生に対して「立志」の種蒔きがなされること
第二は子供らを、ある程度肉体的苦痛に堪えさせること
以上の二つは、深い現実的真理であるが、もし第二の肉体的基盤を欠けば、第一もまた
観念的理解の域を脱し得ないであろう。
・教育の最も基盤的な着眼点はいったいなんでしょうか。それは「掃除」と「礼」という二つだと思います
実際の二つの事柄が、教育の真の現実的基盤を為すと言ってよからう。
6・平澤 興先生語録より
平澤 興 一日一言より
・生きるとは 燃ゆることなり いざやいざ 進まんこの道 わが燃ゆる道
・私はここ数年来 天を拝み 人を拝み 己を拝んで生きている。天とは最初命を与えてくれた大自然
であり、人とは日々の生活で世話になっている方々であり、己を拝むとは自分自身を拝むことである
・およそ世の中に目がさめたことも、今無事に心臓が動き、安らかに呼吸していることなども、一見平凡では
ありますが、実はいまだに完全には解き明かすことのできぬ不思議がその奥にあるのであります